

造影剤を用いるCT検査について

方法

造影CT検査では、ヨード造影剤を静脈内に投与することで、病気の有無や 性質・範囲をより正確に評価することができます。造影剤を使うかどうかは検査の部位や目的によりさまざま、主治医が判断いたします。

副作用について

ヨード造影剤は基本的には安全な薬剤とされていますが、一定の頻度で下記のような副作用が生じることが知られています。

- ・軽いものとしては吐き気、動悸、かゆみ、くしゃみ、発疹、発赤が生じることがあります。
(通常は特に治療を必要としません。)
- ・検査後数時間から数日後に発疹が現れることもあります。
(通常は特に治療を必要としません。)
- ・非常にまれな重篤な副作用
血圧低下(ショック)、呼吸困難、意識消失、腎不全などが生じる可能性があります。
また、他の通常の薬剤と同じように10万人～40万人に1人の割合で死亡の報告があります。
(当院での死亡例はございません)
- ・造影剤を血管内に注射する際に、血管の外に造影剤が漏れることもあり、これによる注射部位の腫れ、痛み、内出血を生じることがあります。通常は時間がたてば自然に吸収されますが、血管に漏れ出た造影剤の量や痛みの度合いにより適宜処置を行う場合もあります。
- ・万が一副作用が生じた際は保険診療にて最善の処置、治療を行います。

以上、ご了承いただいた場合は下記同意書に署名をお願いします。
(ご本人が18歳未満の場合または記入が困難な場合は保護者の方の署名をお願いします。)

同意をいただけない場合は造影剤を使わず検査を行うか、検査を中止します。なお、同意された場合でも検査前であればいつでも撤回することができます。

造影CT検査 同意書

私は造影剤に関して、その必要性和副作用の可能性について説明を受けて理解しましたので、造影剤を使用することに同意します。また、万が一副作用が現れた場合には必要な処置を受けることも承諾します。

記入日 平成 年 月 日 本人氏名 (自署)

保護者 または 代理人氏名 (続柄)

主治医